

●…………… 論文特集号原稿募集 ……………●

——周波数発生・制御デバイスの新展開特集号

(和文論文誌 A) 論文募集——

周波数発生・制御デバイスの新展開特集編集委員会

電子情報通信学会和文論文誌 A の特集号(平成 25 年 6 月号)として、「周波数発生・制御デバイスの新展開」を企画しました。水晶・MEMS 発振器やアンテナ共用器、原子時計等の周波数発生・制御デバイスは、高速通信技術を支える基盤デバイスとして確固たる地位を確保しています。その一方で、より一層の性能向上や小形化・低背化等が要請されています。本特集企画では、周波数発生・制御デバイスの今後の展開を目指した新材料、新プロセス、構成法、設計法、計測法などの関連技術について、最近の進歩を分野横断的に把握し、共通の技術課題を抽出し、今後の技術開発の方向を展望したいと思います。皆様の積極的な御投稿をお願い申し上げます。

1. 対象分野

周波数発生・制御デバイスに関連する様々なテーマの論文を広く募集します。以下に幾つかの例を示します。

- ・弾性表面波共振子, フィルタ
- ・バルク波共振子, フィルタ
- ・水晶振動子, フィルタ
- ・新材料, 新プロセス
- ・MEMS 共振子
- ・高安定発振器
- ・集積化発振器, フィルタ
- ・アンテナ共用器
- ・原子時計, CSAC
- ・位相雑音, ジッタ

周波数発生・制御デバイス技術は、研究の歴史が長く、様々な分野が関係する学際的な研究分野であり、本特集号により、分野間が相互に刺激し、本領域の新たな展開を期待するため、広い分野からの積極的な投稿を期待します。

2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文と同一とします。原則として、論文は刷り上がり 8 ページ程度、レターは 2 ページ程度で、最大で 4 ページとします。詳細は「和文誌投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/ess_mokuji.html) を御覧下さい。なお、査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成 24 年 9 月 5 日(水) 厳守

4. 問合せ先

藤井 知

千葉大学産学連携・知的財産機構

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33

TEL [043] 290-3994 E-mail : s_fujii@faculty.chiba-u.jp

5. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。 https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

送付先：

論文特集号原稿募集

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

FAX [03] 3433-6616

E-mail : wabun-a@ieice.org

※郵送の場合は、封筒に特集号名を朱記して下さい。

6. 特集編集委員会

委員長 橋本研也(千葉大)

編集幹事 藤井 知(千葉大)

編集委員 足立武彦(横浜国大), 磯部 敦(日立), 上田政則(太陽誘電), 大森達也(千葉大), 門田道雄(村田製作所), 五箇繁善(首都大東京), 田中秀治(東北大), 田中雅子(セイコーエプソン), ラメシュボカレル(九大), 渡部泰明(首都大東京)

——先端半導体デバイスの基礎と応用小特集号

(英文論文誌 C) 論文募集——

先端半導体デバイスの基礎と応用小特集編集委員会

情報化社会の進展は、半導体集積回路・半導体デバイスの技術進歩なしには望みません。また、将来の知識基盤社会の構築にも、半導体デバイスの革新的な進歩に期待が寄せられています。微細化の限界を打破するためのシリコン ULSI デバイス技術、通信容量を格段に飛躍させる化合物半導体デバイス、新機能を創出する量子効果デバイスなど、半導体デバイスの大きな挑戦が進んでいます。最近では、化合物半導体とシリコンの融合集積化も研究が進められています。このような背景から、最先端半導体デバイスの研究動向を紹介することを目的に『先端半導体デバイスの基礎と応用』と題して小特集号(平成 25 年 5 月号)を企画致しました。多くの方々の積極的な御投稿をお願い致します。

1. 対象分野

- ・集積回路及び先端集積化技術
- ・集積回路プロセス技術
- ・高周波デバイスと回路応用
- ・パワーデバイス
- ・ワイドバンドギャップ材料とデバイス
- ・新しい材料, デバイス, 回路
- ・環境発電・蓄電技術
- ・MOSFET, バイポーラトランジスタ, 集積デバイス
- ・化合物半導体材料とデバイス応用
- ・マイクロ波/ミリ波デバイス
- ・TFT の材料・デバイス・応用
- ・量子効果デバイス, 単電子デバイス
- ・評価技術・シミュレーション技術
- ・MEMS, NEMS 技術

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一です。刷り上がりペーパー 8 ページ、ブリーフペーパー 4 ページ以内(厳守)を原則とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。投稿方法は下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1 : https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行っ

て下さい。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EC] Fundamentals and Applications of Advanced Semiconductor Devices を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順2: 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を電子メール (推奨)、FAX、あるいは郵送にて下記まで送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。なお、電子メール利用の場合、著作権譲渡承諾書は、サイン済みの用紙をスキャンしたファイルを添付下さい。

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 8 月 25 日 (土) 必着

5. 郵送先及び問合せ先

宮崎誠一

名古屋大学大学院工学研究科電子情報システム専攻

〒464-8603 名古屋市千種区不老町

TEL [052] 789-3588, FAX [052] 789-3168

E-mail: miyazaki@nuee.nagoya-u.ac.jp

6. 小特集編集委員会

委員長/ゲストエディタ 遠藤哲郎 (東北大)

幹事 上田哲三 (パナソニック), 宮崎誠一 (名大)

委員 新井学 (新日本無線), 安齋久浩 (ソニー), 井田実 (NTT), 梅田浩司 (ルネサスエレクトロニクス), 池田浩也 (静岡大), 大島知之 (ラピセミコンダクタ), 大見俊一郎 (東工大), 岡田浩 (豊橋技科大), 尾辻泰一 (東北大), 小野行徳 (富山大), 角原由美 (NEC エナジーデバイス), 葛西誠也 (北大), 川村博史 (シャープ), 国清辰也 (ルネサスエレクトロニクス), 後藤哲也 (東北大), 佐道泰造 (九大), 鈴木寿一 (北陸先端大), 須原理彦 (首都大東京), 高橋芳浩 (日大), 田中慎一 (芝浦工大), 野口隆 (琉球大), 野村晋太 (筑波大), 羽路伸夫 (横浜国大), 藤代博記 (東京理科大), 前澤宏一 (富山大), 松尾直人 (兵庫県立大), 松田敏弘 (富山県立大), 松永高治 (NEC), 宮本恭幸 (東工大)

7. 小特集号の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 付記

*論文採録の場合は掲載別刷代が必要となりますので、あらかじめ御了承下さい。

*投稿に際しては、著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/member/nyukai.html>

——エレクトロニクス分野における

シミュレーション技術の進展特集号

(和文論文誌 C) 論文募集——

電子工学 (エレクトロニクス) は現代社会を支える根幹技術の一つであり、その重要性については議論を待つまでもありませ

ん。それを支える共通的な基盤技術としてシミュレーション技術があり、独創的なアイデアを容易に検証し、付加価値の高い成果へと効率良く結実させるためにも、シミュレーション技術に関する研究開発が必要不可欠となっています。そこで今回、「シミュレーション」というエレクトロニクス分野の共通的なテーマに関する最先端の研究成果を世に広め、技術立国日本の将来に資するべく、「エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術の進展特集号」(平成 25 年 6 月)の発行を企画致しました。対象分野は、各種エレクトロニクス分野におけるシミュレーション技術、理論、その高速化技術、マルチフィジックスシミュレーション技術、シミュレーション技術の産業、教育応用など全般としていきますので、皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

電子工学一般 (電磁波/光/熱/流体/物性など) のシミュレーション全般が対象で、トピックスを以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・エレクトロニクスシミュレーションの技術、理論
- ・エレクトロニクスシミュレーションの高速化技術、理論
- ・マルチフィジックス (複合) シミュレーション
- ・エレクトロニクスシミュレーションの産業、教育への応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 ページ程度、ショートノートは 2 ページ程度とします。執筆の詳細は「和文論文誌 C 投稿のしおり」を御参照下さい。(http://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html)

なお、査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する場合があります。あらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成 24 年 9 月 7 日 (金) 厳守

4. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification registration completion) が送付されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿 (ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先:

一般社団法人電子情報通信学会 編集出版部 論文課

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内

FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-c@ieice.org

5. 問合せ先

平田晃正 名古屋工業大学大学院工学研究科情報工学専攻

〒466-8555 名古屋市昭和区御器所町

TEL & FAX [052] 735-7916

E-mail: ahirata@nitech.ac.jp

6. 特集編集委員会

委員長 橋本修 (青学大)

幹事 藤代博記 (東京理科大), 平田晃正 (名工大)

編集委員 大久保寛 (首都大東京), 池田奈美子 (NTT), 須原理彦 (首都大東京), 千葉英利 (三菱電機), 陳春平 (神奈川大), 辻寧英 (室蘭工大), 日景隆 (北大), 藤本孝文 (長崎大)

——アナログ回路技術と

SoC 向け混載技術に関する小特集号

(英文論文誌 C) 論文募集——

アナログ回路技術と SoC 向け混載技術に関する 小特集編集委員会

クラウドサービスの急速な進展により、IT 分野のみならず、ヘルスケア、農業等あらゆる分野において情報通信機器の進化が求められています。これらの進化をハードウェアの側面から支えている技術に、アナログ回路技術があります。多様な情報機器に用いるアナログ回路には、高度な機能・高性能を低消費電力かつ低コストに実現することが要求されており、アナログ回路技術のみならず、デジタル信号処理との協調、SoC 環境下での性能保証など、広い要素技術領域の発展が必要とされています。

そこで本小特集号(平成 25 年 6 月号)では、アナログ回路技術、ミックスドシグナル SoC への応用、あるいはヘルスケアや農業といった新しい分野への応用など、アナログ回路を取り巻く新しい諸問題について広い問題提起・議論をし、この分野における研究・開発を更に、活発に進展させて頂きたいと考えました。多くの皆様の積極的な御投稿をお願い致します。(必須ではありませんが) チップ実現・測定結果を含んだ論文を歓迎します。

1. 対象分野

主な分野は以下のとおりですが、これらに限定するものではありません。

- ・ワイヤレス回路技術、ワイヤライン回路技術
- ・高周波回路技術
- ・広帯域回路技術
- ・光通信用回路技術
- ・低電圧・低消費電力回路技術
- ・高速・高精度 AC-DC 技術
- ・SoC 向け混載技術
- ・アナログ回路向け実装技術(電源/デジタル雑音対策、モジュール、EMC 対策、パッケージング、SiP など)
- ・パワーエレクトロニクス回路技術
- ・ミックスドシグナル応用領域(RFID、ストレージ、チューナ、車載、医療/ヘルスケア、センサ・MEMS インタフェースなど)
- ・高性能化のためのアナログ要素技術一般(高周波 ESD 保護回路、電源回路など)
- ・アナログ回路向けデバイス技術(CMOS、BiCMOS、化合物、MEMS など)
- ・半導体デバイス・モデリング技術、デバイス/回路シミュレーション技術
- ・アナログ向け DFM・テストバリエーション

2. 論文の執筆と取扱い

本小特集号ではペーパーとブリーフペーパーのみ受け付けます。原則として刷り上がりペーパー 8 ページ、ブリーフペーパー 3 ページ以内とします。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_es.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は 60 日)を短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。本小特集への論文投稿については下記を御参照下さい。

3. 投稿方法

査読作業の円滑化を図るため、本小特集では論文の電子投稿を行います。以下の手順で御投稿下さい。

手順 1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。なお登録時には必ず“Type of Section (Issue)/Transactions”で [Special-EC] Analog Circuits and Related SoC Integration Technologies を選択して下さい。[Regular-EC] を選択しないで下さい。

手順 2: 著作権譲渡承諾書 (Copyright Transfer and Page Charge Agreement) と仮登録確認用紙 (Confirmation Sheet of Manuscript Registration) を下記まで郵送、FAX、または電子メール添付で送付して下さい。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 10 月 5 日(金) 必着

5. 送付先及び問合せ先

古田雅則

(株)東芝研究開発センター ワイヤレスシステムラボラトリ

〒212-8582 川崎市幸区小向東芝町 1

TEL [044] 549-2280, FAX [044] 520-1806

E-mail: masanori.furuta@toshiba.co.jp

6. 小特集編集委員会

委員長 藤本竜一(東芝)

幹事 古田雅則(東芝)、野口宏一郎(ルネサスエレクトロニクス)

委員 青木 均(モーデック)、秋田一平(豊橋技科大)、伊藤正雄(ルネサスエレクトロニクス)、上野憲一(アナログ・デバイス)、岡田健一(東工大)、尾野孝一(ソニー)、香川景一郎(静岡大)、丘 維礼(リガク)、佐藤隆英(山梨大)、傘 昊(東京都市大)、島健(神奈川大)、杉本泰博(中大)、谷本 洋(北見工大)、東原恒夫(会津大)、中村宝宏(日立)、新津葵一(群馬大)、兵庫 明(東京理科大)、廣瀬哲也(神戸大)、榊井昇一(富士通)、武藤浩二(長崎大)、森健一(パナソニック)、森村浩季(NTT)、吉村隆治(テキサス・インスツルメンツ)

7. 小特集号の海外配布

本小特集号は、該当分野の海外キーパーソン 50 名に送付される予定です。

8. 重要なお知らせ

招待論文の場合を除き、投稿に際しては著者のうち少なくとも 1 名は本会会員でなければなりません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けません。ととなりますので御注意下さい。

——「画像の認識・理解」特集号

(和文論文誌 D) 論文募集——

画像の認識・理解特集編集委員会

「画像の認識・理解シンポジウム」は、情報・システムソサイエティパターン認識・メディア理解研究専門委員会と情報処理学会 CVIM 研究会が主催・共催している、当該分野の中心的な国内シンポジウムです。この「画像の認識・理解」特集号の目的は、同シンポジウムで発表された優秀な研究成果を広く会員に伝えるとともに、画像認識・理解分野の将来を展望することにあります。

本特集(平成 25 年 8 月号)は、投稿論文を MIRU2012 発表論文に限定しません。画像の認識・理解に関する和文の論文を広く募集致しますので、奮って御投稿下さい。なお、MIRU2012 に

においてオーラルセッションに採択された研究発表のうち、特に優れた10件程度を選出し、通常の査読プロセスを経て採録に至った論文を「MIRU2012 推薦論文」として掲載します。

1. 対象分野

1. パターン認識基礎, 2. パターン認識応用(1): 一般物体認識, 文字・文書, 映像, 医用画像, 3. パターン認識応用(2): 人物, 顔, 動作, 生体認証・監視, 4. 幾何学的解析・最適化, 5. 光学的解析・画質改善, 6. 画像・映像解析, 7. 三次元データ処理・多視点画像処理, 8. インタラクション・VR・ロボット, その他

2. 論文の執筆と取扱い

・論文の執筆要領は、通常の投稿論文と同一です。「投稿のしおり」は下記の URL で閲覧できます。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html

・下記 URL から登録を行って下さい。本特集号では電子投稿のみ受け付けます。仮登録の際に作成される投稿者チェックリスト並びに Copyright Transfer and Page Charge Agreement は、論文投稿締切日である平成 24 年 10 月 10 日(水)までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

https://review.ieice.org/regist_j.aspx

また、仮登録完了時点で「Notification of completion for Temporary Registration (by UPLOAD from web) + 仮登録番号」が申込者にメールにて送付されます。本メール内に記載してある URL にアクセスすることにより、論文原稿のアップロードが行えます。投稿締切日までに必ず原稿をアップロードして下さい。締切日までにアップロードされなかったものについては、取下げとみなす場合があります。ただし、学会事務局で投稿者チェックリスト並びにコピーライトトランスファーフォーム受領後、本登録作業を完了した場合はアップロードができなくなります。その際には学会事務局(wabun-dl@ieice.org)まで御連絡下さい。

・論文採録の場合には掲載別刷代が必要となりますが、あらかじめ御了承下さい。

送付先

一般社団法人電子情報通信学会編集出版部論文課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-dl@ieice.org

3. 論文投稿締切日 平成 24 年 10 月 10 日(水) 厳守

4. 問合せ先

特集編集委員長
大町真一郎
東北大学大学院工学研究科電気・通信工学専攻
〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-05
TEL [022] 795-7087 (直), FAX [022] 795-7086
E-mail: machi@ecei.tohoku.ac.jp

5. 特集編集委員会

委員長 大町真一郎(東北大)
副委員長 池内克史(東大)
幹事 岩村雅一(阪府大), 大塚和弘(NTT), 堀田政二(東京農工大)
委員 天野敏之(山形大), 井手一郎(名大), 大西正輝(産総研), 大山航(三重大), 亀田能成(筑波大), 木村昭悟(NTT), 佐川立昌(産総研), 佐藤智和(奈良先端大), 長原一(九大), 新田直子(阪大), 延原章平(京大), 原田達也(東大), 藤木淳(産総研), 山下隆義(オムロン)

——リコンフィギャラブルシステム小特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——

リコンフィギャラブルシステム小特集編集委員会

電子情報通信学会は、情報・システムソサイエティの英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems の 2013 年 8 月号において、リコンフィギャラブルシステム小特集 (Special Section on Reconfigurable Systems) を企画しています。リコンフィギャラブルシステムに関連する幅広い研究分野の未発表オリジナル論文を募集します。奮って御投稿下さい。

情報通信のデジタル化の進展に伴い、柔軟かつ低消費エネルギーな高性能計算システムへの要望がますます高まっており、その実現手段としてリコンフィギャラブルシステムが注目されています。小規模単純な論理を簡便に実現する手段であった当初のプログラマブル論理素子 (PLD) や FPGA は、いまや複雑高度なシステムオンチップに進化し、また、動的再構成といった革新的な能力も獲得しています。更に、従来のプログラマブル論理の概念を打ち破る様々なリコンフィギャラブルアーキテクチャが提案されています。性能、柔軟性、消費エネルギー、信頼性などの観点から、更なる進化が求められています。それらデバイス上で計算を行う回路の設計に際して、従来のソフトウェア用コンパイラや回路設計ツールのための技術では動的再構成などの新しい概念に対応することはできず、そのための設計技術の研究開発も不可欠です。実利用と普及に向けて、実問題への適用事例を積み重ね知見を共有して更なる発展を図ることも重要な課題の一つです。本小特集号は、それらリコンフィギャラブルシステムに関する最新の研究開発を紹介することを目的とします。

1. 対象分野

以下に挙げる分野を含めて、またこれらに限らず、リコンフィギャラブルシステムに関連する論文を幅広く募集します。

- ・リコンフィギャラブルシステム, プロセッサ, アーキテクチャ, デバイス
- ・FPGA, PLD
- ・動的再構成可能システム, 組込みリコンフィギャラブルシステム
- ・仮想ハードウェア, 進化型ハードウェア, 適応的ハードウェア
- ・リコンフィギャラブルシステムのためのデバイス技術, 回路技術
- ・低消費エネルギー, 非同期, 高信頼リコンフィギャラブルシステム
- ・リコンフィギャラブルシステム向けシステムソフトウェア
- ・再構成技術
- ・リコンフィギャラブルシステム向け設計技術, 検証技術, 運用技術
- ・リコンフィギャラブル技術の応用, 設計事例, 高性能計算, プロトタイピング

2. 投稿要領

投稿の締め切りは 2012 年 11 月 1 日(木) 23 時 59 分(日本標準時間)です。

投稿に関する規定詳細は“The Information for Authors”(http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html)を御確認下さい。標準的な原稿ページ数は、一般論文で 8 ページ、レターで 2 ページです。

投稿論文の提出は本会の Web サイト (<https://review.ieice.org>)

org/regist_e.aspx) から行って下さい。電子メールや郵便での提出は受付致しません。提出に際して, “Type of Issue (Section)/Transactions” のリストから “[Special-ED] Reconfigurable Systems” を選んで下さい。

投稿後一週間以内に “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” と “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” を編集幹事(下記「問合せ先」参照)まで電子メール添付, FAX, あるいは郵送のいずれかの方法で送って下さい。

3. 注意事項

論文が採録となった場合, 掲載別刷代をお支払い頂きます。

投稿に際し, 著者のうち少なくとも1名は, 本会会員でなければなりません。入会の案内は <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html> を御覧下さい。

4. 編集委員会

委員長 天野英晴(慶大)

幹事 佐野健太郎(東北大), 長名保範(琉球大)

委員 弘中哲夫(広島市大), 堀 洋平(産総研), 市川周一(豊橋技科大), 飯田全広(熊本大), 井口 寧(北陸先端大), 泉 知論(立命館大), 梶原信樹(ルネサスエレクトロニクス), 京 昭倫(ルネサスエレクトロニクス), 丸山 勉(筑波大), 密山幸男(高知工科大), 宮本直人(東北大), 名古屋 彰(岡山大), 中原啓貴(鹿児島大), 柴田裕一郎(長崎大), 渡邊 実(静岡大), 山田 裕(東芝)

5. 問合せ先及び送付先

幹事 佐野健太郎

東北大学大学院情報科学研究科情報基礎科学専攻

〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-01

TEL & FAX [022] 795-4541

E-mail: kentah@caero.mech.tohoku.ac.jp

本会発行新刊案内

光波を深く理解するための足がかり

光波工学の基礎

井筒雅之 著

A5 判上製 定価 4,095 円(税込)

光エレクトロニクス, フォトニクスをはじめ種々の光技術は, 今や社会を支える上でなくてはならない基盤技術である。そして光技術の根幹の一つが光波工学である。様々な光デバイスやシステムの動作原理を理解し, 光波利用の新しい着想を得たり, 技術分野を切り開いていく上で, 光波が電磁波としてどのように振る舞うのかを正しく把握しておくことが, 極めて重要である。

本書ではその基礎として, 光波を電磁波として捉え, マクスウェルの方程式を土台に, 平面波から光波モードの概念導入までをまとめている。読者には, 電気系の大学卒業程度の知識を前提とし, 大学院学生, あるいは, 技術分野で活躍する社会人が, これらの基礎を確かめる際に役立てばと願っている。

《内容目次》電磁波としての光波/平面波の反射と透過/多層構造における反射と透過/フーリエ解析/応答とスペクトル/光波と媒質/複屈折/回折/ビーム波/光導波現象, 導波モード/放射モード, その他のモード/種々の光導波路

〒105-0011 東京都港区芝公園3丁目5番8号 機械振興会館内 振替口座 00120-0-35300

TEL [03] 3433-6691(代) FAX [03] 3433-6659 E-mail: kaiin@ieice.org

正員, 学生会等の個人会員の方の注文を承ります。2割引・送本費500円 上記番号で御注文下さい。

一般社団法人 電子情報通信学会